

信友

信友会事務局

東京都渋谷区東1丁目32-13
ビル・ナミキ橋
電話 03-407-1192

建前と本音

信友会会長 大河原 三平

稍冷まし感じがありますが、皆さんの御支援が実り、目出度く信友会員の永野参議院議員が誕生しました。何はともあれ御同慶の至りに存じます。

これからは御本人の益々の御精進御建闘の程をお祈りすると共に、信友諸兄の層々御支援をお願い致します。

さて「分り易い政治」と声高に標榜する政治家が多いが、政治の実態は仲々分り難いことが多く、とに角政治家部落の中は、一般の常識を超えた「力学」で動いているようでありました。また一年余の選挙戦で、応援団の片隅から垣間見た側面のみではあるが、政治家という名の社会では「建前」と「本音」の位相差が極めて大きいように思えます。

例えは参議院の全国区比例代表制は、元来金の掛からないためというものであったが、候補者にとつては、御利益は何も無いどころか却って大変な面が多いようでありました。従って今や制度上の「建前」の主語は候補者ではない。又選挙中制度改正が言われましたが、現在在任候補も根強いと聞く。その論者の「本音」は別の処にある



又候補者の名簿順位についてであります。

(1) 永野候補は源田議員の後継者として関係筋から推薦され、防衛代表として公認されたもので単なる新人ではないと聞かされてい

ました。

(2) 党からのノルマ(党員獲得、署名集め)についても、時に党本部から支援団体(隊友会、父兄会等)の動きについて、ハッパを掛けられた一幕があったやに聞いておりますが、皆さんの御支援による見事なラストスパートで、程々の評価を得る事に達していたとの大方の見方でありました。

(3) 候補者自身の地方区候補者と共に選挙活動についても、地球を四週以上の延軒数に達した活躍で、大分評価されてい

ました。

(4) 特に党の総裁、幹事長が防衛庁長官の経験者で、防衛そのものにとつて、隊員の高い志気が緊要不可欠であり、現役三十万隊員及び直接の関係者百余人に、冷水を浴びせようなどとはあるまい

等々ある種の期待を持っています。結果は御存じの通りであります。この年齢になって兵隊屋敷育ちの単細胞を、いやという程思い知らされた次第であります。

だが政治の場では防衛上の専門知識等は刺身の妻程度しか機能しないとの見方であろうか、としたら訓示等から素直に理解していた「建前」とは余りにも掛け離れた

「本音」ではなからうか。私は現在政治の場での防衛論がアバウト論を一步も出ないもどかしさといえら、色々苦労している隊員諸君の処遇に對しては、政治の配慮が行き届いているとはどうしても思えない情けなき、等々老いの身に焦りを感じております。これ等の打開には国防の直接の場専門知識に裏付けされた情熱による、PR説得を是非必要とする

と考えるものであります。さて国会議員の活動には当選順位は勿論無関係であり、それに順位問題で大変話題になったことも

議員一年生

参議院議員 永野茂門

七月の選挙で皆様の御蔭で当選させていただきました。四月となりまして、ほんとは有難うござい

ました。五十八年の堀江先輩に引続き二度目の比例代表制選挙でありましたが、戦い方のノウハウも確立されておらず、なかなか難しい戦いではありましたが、皆様のなみなみならぬ御支援で勝たせていただきました。

私も、議員生活にや々と慣れてきたというところでしょうか。参議院では内閣(防衛庁関係はすべてこの委員会)で審議、決算(ただ今五十九年度分審議)の二常任委員会と外交、総合安全保障委員会(基本的、長期的調査)に所属しています。

十月までの四ヶ月間に本会議五回(特別国会開会式、首班等指名、臨時国会開会式、施政方針演説、同代表質問、国鉄改革法案主旨説明、同代表質問、公務災害補償法

あり、少くも自民党内における知名度は大いに上ったことである。どうか永野参議院議員には自信を持って防衛施策にアバウトでなく本質論で迫り、又隊員諸君が安心して張り切れるキメ細い「建前」と「本音」の位相差の無い、分り易い政治環境の整備に邁進して頂くよう切にお願いしたい。と同時に御本人が活躍出来るための重要な条件である支持基盤強化のため、信友の皆さんの御支援の程を重ねてお願いする次第であります。

また自民党では内閣、国防の二部会の常任委員、外交、科学技術の二部会、憲法、安保、恩給・共済制度、情報産業の五調査会と教育改革、治安対策、基地対策、北方領土、領土・領海問題、宇宙開発、スパイ防止の六特別委員会の委員、党本部組織では国民運動本部推進部長、国民生活局長をやっています。そのほかに各種の議員連盟に四十くらい入り、これらすべてを通じて院内、党内の政治活動をやっているわけです。



これらの部会や委員会などは本会議や委員会の合間をぬって朝は八時から、昼は正午から、その他昼夜適宜一時間から二時間の政府ブリーフィングをはじめとする勉強会、陳情聴取、政策審議などを行っています。これらの会議等の頻度は、九、十月を見ても朝二十五回、昼三十二回、午後十二回、また夜はパーティーを含み週平均十回程度で健康管理には十分留意しています。

これらを通じて、議員が大変熱心に勉強し、独自のアイデアを述べる人が多く、選挙区向けだけでなく真剣に国益を追及していること、体力、気力、説得力が人並以上の人が多いことに気がつきます。しかし何故か軍事音痴も多いのに驚きます。

議員生活は私自身珍しいうので御紹介しました。皆様の益々の御多幸と信友会の充実・発展を祈るとともに、今後の御指導、御鞭撻と御支援、御協力をお願い申し上げます。

信友会は創立23周年をむかえます。会則に基づき定期総会及び祝賀の懇親会を次のよう

に実施いたしますので、会員の皆様の多数の御参加を希望いたします。

なお懇親会は、例年のように現役と共催で、新信友会員(新退官通信幹部等)の歓迎を兼ねて実施いたします。

23周年総会・懇親会の御案内

一、日時

62年2月28日(土)
総会 16時30分より
懇親会 17時より

二、場所

東京都豊島区西池袋3-21-12
電話 03-387-0211
(池袋駅西口から徒歩約三分。西口西公園西側の大通りの向い側)

三、会費

七、〇〇〇円(会場費いただきます)

【お願い】

準備の都合上、同封のがきで出欠を御連絡下さい。

当日、受付が混雑しますので、なるべくお早めに会場下さい。

昭和61年度信友会会計報告

61年12月1日現在

収 入	支 出
前年度繰越金 742,492	慶弔費 201,450
終身会費等 305,360	通信費 13,300
施収入 305,360	事務経費 5,250
利子	
計 1,047,852	計 220,000
残 高	827,852

(単位:円)

以上のとおり報告します。

昭和61年12月1日
信友会幹事 末島 稔 ㊟

監査の結果相違ありません。

昭和61年12月1日
信友会監事 野村 明 ㊟

小川勝衛

思う。

まく環境条件が異なるからである。私は幸福に楽しく余世を送り天寿を完うするためには、高令者の個性が国家施策や社会施策に甘えることなく、自らが自己啓発につとめ、自らの生涯を開拓してゆくことが豊かな余世を克ちとる唯一の途ではないかと思う。

即ち老後の幸福は個人自らが創造するものでもあると思っている。従つて自らが自分で自らを鞭打ち管理し、豊かな余世を創り上げる覚悟と努力が必要であると思う。高令であるということと周囲から甘やかされるケースが多いと思うが、それに対し「有難い」と感謝こそすれば、これに「甘え当然だ」と思う甘えの考え方は、自らを修めめの生活に追いやる素因ともなろう。

一例として、親子の關係が云々されるケースが多いのも、高令者側の甘えの考え方が原因であることが多いと思う。即ち甘えの考え方に立つ親は高令者になったのだから子供が親の面倒をみてくれる

生を創り上げることはできない従つて先ず健康な身体をつくることである。御参考のために健康と長寿の十則を捧げたい。

(一) 少肉多菜	(二) 少塩多酢
(三) 少糖多果	(四) 少食多齋
(五) 少煩多眠	(六) 少怒多笑
(七) 少言多行	(八) 少慾多施
(九) 少衣多浴	(十) 少車多歩

なお、病氣の素因は酸性體質になることですから、酸性體質にならないよう次のことに留意いたしましよ。

- (1) 心の酷使(ストレス)しない
- (2) 身体の酷使(過勞)しない
- (3) 美食偏食しない。(白砂糖が最大の敵、梅干を常食しましよ)

く異り戦前の慣習が通用しない時代となっている。

く理解し身の処し方を考えるべきであると思う。明治大正生れの戦前派は再び一大試験に立たされ、長寿社会を豊かに幸福に二十年三十年の余世を如何に生き抜くべきかの重大課題を負負わされて、それを解決する宿命を帯びていると思う。

さきに述べた如く、高令者に對する如何なる立派な福祉施策が施行されようと、その人掛け努力が如何により、その人生が幸福な人生にも悲惨な人生にもなりうる。そこで私は私なりに次のように考えている。

一、健康であること

高令になると、とくに「健康である」ということが一番大切な宝であるということが痛感される。今や国民の大半が半病人であり高令者になると殆んど何かの持病をもっていると言わざるを得ない。これでは豊かな人生を創り上げることはできない従って先ず健康な身体をつくることである。御参考のために健康と長寿の十則を挙げたい。

(一)少肉多菜 (二)少塩多酢
(三)少糖多果 (四)少食多粗
(五)少煩多眠 (六)少怒多笑
(七)少言多行 (八)少慾多施
(九)少衣多浴 (十)少車多歩

なお、病気の素因は酸性体質になることですから、酸性体質にならないよう次のことに留意したい。まじよう。

(1)心の酷使(ストレス)しない
(2)身体の酷使(過勞)しない
(3)美食偏食しない。(白砂糖が最大の敵、梅干を常食しまじよう)

小野雅司

健康の防

信友会の皆さん、お久しぶりです。通信補給処で自衛隊を卒業以来十五年になります。まったく早いもので、国の防衛に関する一般の認識が往時と比較できない程たかまっているのに驚びを感じるものです。

当時一緒に生活した同年輩の野口裕氏、田村鮮司氏、福永哲郎氏が今年相次いで亡くなりました。私事です、妻が五月に三年の宿痼の未病没、私自身も昨年暮自覚症状がないまま、検査の結果肝臓の千葉に脂肪肝があることが判り入院切除。今なお検査のため毎月通院中の状況です。

ところで「健康は人間に与えられた最高の恵みです」と、毎日曜日九時から放送されているNHKの鈴木さんの有名な紹介にあやかって、私なりの健康随想を披露します。で、御叱正を賜われば幸いです。

一、健康の意義

「健康が人生の基礎」だの、「健全な精神は健康な肉体に宿る」だの等々、これに類する言葉は耳に「タコ」ができるほど聞かされてきた。仕事のできるのは健康の御蔭である。経済的に恵まれ、気分的にも余裕がでる。健康の恩恵である。健康であれば自然に「リズム」がおきる。生活の「リズム」、これが良い仕事を生む。運も向く。「バイオリズム」によって運が左右される。体の調子が悪いと元気がない。つい気分も沈み勝てて減る。あらゆることを悲観的に眺

尾形二郎

世界の統合は有

コンセンサスの世界を求め

尾形 二太

史以来幾層が訪れた。

第二次世界大戦直後は、国連により連合される機運になり、その中に日本国憲法も生まれた。従って日本国憲法の志向は、世界統合政治下の地球生活を希求している。

憲法は、国民の意志を最も明確に表明しているという視点に立てば、

国がその憲法を限りなく理想に近づけようとする姿勢は、世界に対して最良の感化となり、祖国防

人類が自由と平和を確立するためには、宇宙・国際・国策・人生

「人類の單位は個人である」、
 という視點に立てば、全ての個人が一堂に會して直接政治に参加するのが世界統合政治の理想であり、理想に限りなく近づこうとする勢が肝腎である。この姿勢と現勢を交配し、人類をして一人巨大人間化することを焦點にして人体を究明し、現代科学を活用して行けば第三次世界大戦を回してつづ世界を統合したいと願望している人間社会に、素晴らしいアイデアを限りなく提供してくれるものと期待している。例えざればエレクトロニクスを活用して、電界をコンピュータ・頭脳・超多多通信神経・電子生命司体の体制することもできると考えている。「森羅万象は電子單位の様々な組成」という視點に立てば、世界を有機的に統合一貫の機能にし、政治を正早安樂にするこのできるものは電子能力である。電子能力の活用こそ、未知を、知にし、可能性を開く主流になるものであると思う。

更に飛躍すれば、エレクトロクス革命は神靈をも目視できるもの、人類に提供してくれるであろう。

「魂は自由・平等・博愛を基とする靈界輪廻上のものである」という視點に立てば、魂が人体主になつて生命すれば人間とな魂が電子体の主になつて生命すば神となるとも言える。零を常とする靈界の同志が人間に生れ地球に住み、神に生まれて宇宙往むとも言える。夢で見る神

白尾
惇

麻雀論

「ハイテク時代」のビジネスマンの風俗は、「立てばフアックス、座ればワープロ、歩く姿はパソコン講習」とも言われています。これらは、人間が機械を相手にする「マンマシンシステム」です。そこでも一方の「マンマン」システムを組合せ活力を得るのが上手な世渡り、代表は「立てばカラオケ、座れば麻雀、歩く姿はゴルフ行」かと思います。

麻雀は、賭博だと思われ勝ちですが、大正時代中国から渡来し、善人の「遊び」として愛好され、その技術は「芸能」とみなされた時代もありました。私は、茶華道と同じく「道」の一つであると思っています。

要は、自らの力で「賭け」をコントロール（金銭的・肉体的に）し、作法どおり行なう人がやれば「道」となるのです。

麻雀の効用は、
 一、あくまで食いがたつて敵を逃がさぬ動物的本能がよみがえり元気がでてる。
 二、ストレスを解消し、自己陶酔のできる世界に没入することができる。
 三、老花現象防止に良い指先の運動が出来る。
 四、勝つために、何をしなければならぬか等の状況判断が鍛練出来る。
 五、人格円満、品格高尚となる。

次に実戦的教訓を二、三あげます。

一、どんな役作りをするか迷う配牌相の時は、ツギがないと観念し、無理に和了せず、翻牌、ドラは相手にボンをさせない。親でドラ入りの時は、ガメるより聴牌を早くする。
 二、九巡過ぎたら黙聴が一人はいい。生牌ざりはしない。
 三、親リーとバカツキにはさからわない。
 四、ドラは、早い時期に捨てるか、捨て損ったところよく愛する。
 五、リーチの人の「あいだ四間」の捨牌に注意する。（三筒と八筒の間つまり五筒と六筒の間の面子が手に残されていると見てよ）
 六、リーチ近い巡で同じ牌を続けて捨ててゐる時は、その前後の牌に注意する。
 七、理想の聴牌期は十巡目。魔の九巡目の聴牌期は十巡目。魔の九巡目を慎重に考える。
 八、最近はい自動卓が増えてきたが、本来はよくまけて穴に入れるのですが、そうもいかず、機械の特性から
 一、二勝負位は終始、七対子をややつて見る。一、二回は必ず和了できる。
 二、ドラが二枚あれば三暗刻をややる。
 三、平均的聴牌期の画面待ちは和了りが薄く、一発ありならば、早い時期にカンチャンベンチヤンでリーチの方が和了し易い。
 四、一度皆様試して見て下さい。
 今、全国の麻雀店は三万店を割りました。四年前に比べ五千店減っています。「道復興と間接税収取り寄与のため品格ある御精進を祈りたいものです。」

浦江幸彦

自衛隊で学んだこと

大山義一

his fate) ツキを呼ぶ男とでもいふ言葉があると聞きました。この

雜感

いがしたが、会社勤めに甘えは禁物である。

ことから
「男一人旅」

物である。

地図にない溪谷

長山照雄

私の唯一の趣味は魚釣りですが、なかでも溪流釣り(山釣り)にはかなりのめりこんでいます。還暦を目前にして山釣りに執心している私に、山行きのたびに家族からきびしく忠告をもらう今日頃になりました。

ここ数年私の山釣りは、往復とも夜行列車で二日間の車中泊、そして山で野宿が一泊(又は二泊)の三泊二日(?)が標準パターンです。金曜日会社を定時に退社して、夕食後山釣りスタイルでわが家から上野駅へ向う。

深夜の二時四十分には駅のホームに降りたち、夜空を仰ぎ今日の天気を占う。さらに車で夜の山道を走り、川の入口で車を停めて、夜の白むのを待つ川歩きを開始します。そして、上流のみながみへとひたすら歩きつづけます。

昼に近くなる頃ようやく目的地に到着する。この付近は水中を走る魚影が目につく源流地帯です。竿に仕掛けを与え、魚を求めて源流へと移動する本格的な深山の山釣りが始まるのです。夕暮れまでの数時間で、溪流釣りの醍醐味を十二分に満喫します。

そして土曜日の夜は流木の盛大な焚火にあたりながら、良く飲み良く食べて、川の瀬を子守唄にして、火の傍でねむります。

翌日曜日の宿営地ではゆっくりは出来ません。理由は昨日あいてきた約十時間余の距離を今日一日川降りに専念して、陽のあるうちに人家のある集落に着かなければならぬからです。今日も昨日同様ひたすらあるくのです。

私の山釣り哲学は、あるきが始まって、あるきに終るものだと思っています。夕方町で湯浴を済ませ、身ざらいになって、夜行列車の翌日曜日、私鉄の一番電車であが家に到着。汚れた野暮ったい山

釣リスタイルから、背広姿の会社員に早替りして、定時に社社と相成り、三泊二日の山釣りが幕となります。

趣味も驚くと、バカとか気遣いと言われます。「ゴルフ狂」と呼ばれる人はいない様ですが、釣りでは意外にバカや気遣いの比率が高いようです。私も「つり狂」の一人だと思っています。

長いこと釣りをやっている、地図にない溪谷を発見している素晴らしい溪谷を発見することがあります。幸運にもそんな秘溪が新潟県にありました。

本流の流合う川幅は約三米で、見事に生い茂った藪にかくれた沢です。早春の溪の明るい時期には確認できても、新緑の頃から緑におおわれて沢の入口が見えなくなりま

融雪期と大雨の後、水は沢一杯に流れるがそれ以外は水流が細く貧相な藪川です。しかも本流を釣る人は、足場のよい右岸にあるくので対岸にあるその沢に入川するには、本流の深い急流に下半身を濡さないで渡渉はできません。

この様な理由もさるであらうか、釣人から見向きもされない沢になったのだと思う。

私がこの沢に入川してすでに八年になるのに、未だに人に会ったことがない。地元の人には間違いない川入川している筈なのに不思議と出会っていないのです。さらにこの沢に入川しても、藪のため竿をだすことが出来ず、しかも厚い藪の下を背を丸めた不自由な姿勢でと流れが忽然と消えて、そこから上流は伏流になってしまふ。この沢に入川した釣人は、この伏流地点で、沢に魚がいなくて判断して引き返すのだと思う。私も八年前この地点から本流に戻った方が賢明だと思ったからです。あの時賢

ついたら永久にこの沢を知ることがなかったのです。

水のながい沢を更に進むと、藪のトンネルが切れて視界が広くなり、前方に落差のある小滝や沢のある立派な溪谷が目に入ってきます。初めてこの溪谷をみた私は、しばしば果敢、夢ではないかと思つた。そして、人に知られずにと生きている川を発見したにそうと生きている川を発見したにそうと生きている感動が仲々さめませんでした。勿論この溪谷の釣果は、見事に私の期待に十二分に届えてくれました。そしてこの沢の豊富な水

物音に目覚める。外はまだ暗い。私は低血圧症で朝が苦手だが、休日に限ってセツとした枕時計より早起きである。この理由は目下、早朝乗合の舟釣りにすつかりのめり込んでいるからである。折角の休み、女房殿まで我が湯中に巻き込むのは気が咎め、静かに寝息を窺い安眠を妨害しないよう、出掛けの仕度にも気を配る。幸い駐車場が離れているので車の始動音が近所迷惑にならないのが救いである。食料は途中のストアで調達し、釣宿でコーヒーマシービスの朝食を摂る。釣りは朝マズメが有利だから私晩攻撃が日課となる。

社会人一年生は不慣れた勤務でストレスの蓄積も多いが、会社が週休二日制なのは大変にありがた。退官後は夫婦一緒の趣味を持つことが望ましいと思つたが、海釣りだけは舟に弱く興味が湧かないようである。そこで「貴方独りで存分に楽しんで下さい。ただし迷惑や心配を掛けないように」と相成った次第である。

横須賀に住む地の利と、以前何回か通った馴染の舟宿もあつたこととから、独りでも気軽に参加できる乗合舟で四季折々の釣味を楽しんでいる。

日本の釣人口は二千万人とも言われるブームだし、混んだ休日

の殆んどは、最終の大湖の底の隅から地下水となって、本流に流れこみ、一部の水量が藪川に流れてくることを、翌年大湖の水の流れをみて知りました。

この秘溪は、毎年春と夏の終りに二回必ず行つてます。

この溪谷を自分だけのものだと私同様思っている釣人と、この溪で出会う。還暦を、私は毎年行くと思つてます。還暦を、私は毎年行くと思つてます。還暦を、私は毎年行くと思つてます。

出掛けても釣果は裏切られることがしばしばだが、思ひたつとてもなつても思ひたつとて、ついでに回を重ねていく魅力が潜在している。好きで熱中できる釣りに、色々な効用があるし、新しい発見もあるからだと思ふ。

その第一点は、海という素晴らしい自然の恩恵に浴することで健康的だ。海は穏やかな反面波浪もあるから、釣りは船酔いしない体調づくりが必要で、不節制は禁物である。沖から観る富士山も絶景だし心身が開放されるのである。

日曜釣り師

大橋佐多

出掛けても釣果は裏切られることがしばしばだが、思ひたつとてもなつても思ひたつとて、ついでに回を重ねていく魅力が潜在している。好きで熱中できる釣りに、色々な効用があるし、新しい発見もあるからだと思ふ。

その第一点は、海という素晴らしい自然の恩恵に浴することで健康的だ。海は穏やかな反面波浪もあるから、釣りは船酔いしない体調づくりが必要で、不節制は禁物である。沖から観る富士山も絶景だし心身が開放されるのである。

第二点は、旺盛な研究心をかき立てることだ。舟釣りは舟端に並んでの大勢の競争だけに、殊更技能の未熟さや、対象魚の知識のなさを惨憺な思いをすることもあられる。卒なり合うも他生の縁で気の合う仲間との出会いもあり、教えられれることも多い。

研究熱心が釣果に繋がるから事前の周到な準備は大切だ。そこで新聞や雑誌を始め船宿、船頭等から最新情報を入手する。また天候・気象・潮流の影響も調べたりする。私もいささか釣道具に凝り気味だが、大事なことで特に仕掛は手作りに徹している。これは「逃した魚は大きい」ので、実戦ではぞかむような悔しい思いをしないよう、納得のゆく釣りをしたい

からである。手先の細かい作業だから老化のボケ除けにも効果があるだろう。また書店やハイテク商品が並ぶ釣具店を覗くのも目標があるだけはゲームとしての面白さだ。釣果は二の次と言つたら嘘になるが、その日の状況から平均値は欲しいと思ふ。竿頭であれば意気軒昂である。同じ釣りでも竿釣りと、手釣りがあつたりして趣も異なるが、竿先や指先に魚信があり、ガツリ針掛かりした瞬間思わす「きた」と叫びたい程にドキドキを憶えるのである。私の釣場は主に相模湾であるが、たまたま小魚狙いの細仕掛けに大魚を託した時、若しかしての期待感と心配が交錯する。これこそ限界への挑戦だし、必死の魚とのやりとりに興奮し痺れる。勝負に勝ち、ようやく手を取り「やつた」と嬉しい悲鳴と歓声が上がる。そして立ち派な下道でした、などと思案を張り大満足である。海釣りにはこのような意外性があつるのが魔性だ。つい最近同舟した隣りの釣師が、8kg近い超大型の真鯛を仕止めたのに感動した。魚拓が早速釣宿に掲示されるに及び、羨しいと同時にこれがあつたから痛み付きになると思つたものである。長いこと試行錯誤を繰り返して、技も向上し自信もあるぞと自画自賛しているが、一向にチャンスも幸運も訪れていないのが残念だ。

第四点は獲物の賞味である。現在流通機構の発達と冷凍設備の改良で、魚の食べておしい時期が見失われがちであるが、四季を通じて旬を味わえるのも釣師の特権と思つている。天然産の鮮度抜群の釣魚料理の味は最高である。

舟上での一日は結構な労働だが、帰宅後は約一竿を包丁に持ち換えて上手に魚を捌くアタフィツシングが待っているから大変だ。包丁の研ぎは刺し身の味を左右するとか、砥ぎも自分でやるが、切れの包丁の刃触りも良いものだ。出刃に柳刃、刺し身包丁等、取扱にもよくよく板に付き、簡単な料理

はこなせるようになった。風呂上りに盃を傾けながらの刺し身や塩焼はたしかに美味である。女房殿からお陰様でおいしい刺し身が休みの都度頂けて幸いです。などと云われて破顔一笑、一日の疲れも忘れ、ストレスも解消である。これからは季節風も吹き、日曜

東京の四号館にゼミナールを開講してました。教室は、六階建ビルの四階にあり、ゼミ主幹はおられました。誰が生徒か、先生か、で成り立っていました。受講料無料。修学年限は自分で決められるが、卒業証書は仲々貰えない(自称貫つたという御方もおられます)。履修科目は非常に多く全部が必修科目で選択科目はなし。昼も夜も開講しており出欠自由。教室内には「近代的イジメ」が横行していたが、主幹の一喝か、酒盛りがあると一夜にて解消、和気藹々となる。

主幹は、四つボタンの服を背広風に着こなされておられ、豪放磊落、くだらん事は破顔一笑。要点的は短言寸評。「先取(×専守)技術」「通信は通心」「秘匿はビキ」「悲(カナ)式テレとなる」等。そしてピースの缶入をさよなく愛されてました。又、単位認定は「巨人」勝利の日に限りました。一番年長の御方が、年末ゼミ終了後懇談会に昇任。ゼミ一同「誰が承認されたのですか?」「予算もうまくいったから当分伍長勤務上等兵では?」「まあよろう」一同がやがや。

その後、御昇任の報は聞いておりませんでしたが、過日ゴルフ焼けたお元氣な顔を出され、早速焼酎会を開催、席上第一声「オイドン」は少尉だ。信友会から内示された「一同拍手」。

御兄弟でおられた博學美男の御方「世の中では、白を黒、黒を白

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

四号館ゼミナール

白尾 惇

東京の四号館にゼミナールを開講してました。教室は、六階建ビルの四階にあり、ゼミ主幹はおられました。誰が生徒か、先生か、で成り立っていました。受講料無料。修学年限は自分で決められるが、卒業証書は仲々貰えない(自称貫つたという御方もおられます)。履修科目は非常に多く全部が必修科目で選択科目はなし。昼も夜も開講しており出欠自由。教室内には「近代的イジメ」が横行していたが、主幹の一喝か、酒盛りがあると一夜にて解消、和気藹々となる。

主幹は、四つボタンの服を背広風に着こなされておられ、豪放磊落、くだらん事は破顔一笑。要点的は短言寸評。「先取(×専守)技術」「通信は通心」「秘匿はビキ」「悲(カナ)式テレとなる」等。そしてピースの缶入をさよなく愛されてました。又、単位認定は「巨人」勝利の日に限りました。一番年長の御方が、年末ゼミ終了後懇談会に昇任。ゼミ一同「誰が承認されたのですか?」「予算もうまくいったから当分伍長勤務上等兵では?」「まあよろう」一同がやがや。

その後、御昇任の報は聞いておりませんでしたが、過日ゴルフ焼けたお元氣な顔を出され、早速焼酎会を開催、席上第一声「オイドン」は少尉だ。信友会から内示された「一同拍手」。

御兄弟でおられた博學美男の御方「世の中では、白を黒、黒を白

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

釣リ師の行動も制限されるが、乗り合舟がいくらかでも混雑から開放されることは歓迎である。寒さとともに魚の食味も増し、釣りの愛好者が活躍できるシーズン。体調を整え、防寒にも気を配り、楽しい釣りを続けて行きたいと思つている。

私の日曜日

福岡 秋月

日曜日の朝、私は五時頃には目醒め寝床でソワソワしている。毎
日曜日行きたいのゴルフ練習場へ
遅くとも六時半頃には行かないと
打席がとれないからである。
東洋一を自称するその練習場は、
距離二百米、五十打席、手入れの
居いたグリーンがあつて東洋一は
とも角、よく整った練習場である。
そこへ日曜日の朝、天狗とおぼし
き、多くはブラックシャフトを持
つ実年の面々が我先にと集まっ
て来る。
私のゴルフは、年三回の職場コ
ンペに出るだけで、専ら練習場ゴ
ルフないしは体力養成にとどまり
まことに恥ずかしながらの態た
くであるが、同年輩の好みか、か
れ等実年集団に同志を覚え、一丁
前に遅れじと馳せ参するのが数年
来の日課となつてゐる。

自己の打席を確保したら、まず
は一週間に準備体操、入念か
つ十分に首・肩・腰のしりをほ
ぐす。体の前後屈をやつて最初
は伸々曲がらないが段々と深く曲
がるようになる。これで練習場へ
来た目的の半分を達成。
さていよいよ打放し練習、肩の
力を抜き軽やかにアプローチを
発止と打てば強烈なクラブがトッ
プのくり返し、さっぱり思ひの如
く軽やかに参らぬが、さりとて
アプロに教えることは決してせ
ず、一年でシグナルになる本を
金科玉条として独善的演練に徹し
ている。ひと頃凄まじいスライスを連
発し、甚だ士気沈滞したが、教範
精読の効めか昨今稀れに素直に飛
ぶ球がでてやる気をとり戻したと
ころである。体調によるが、二百
球も打てばじっとり汗ばんで我流
運動の充実感と爽快感を存分に味
わうことができる。

午後はYMCAのプールへ行く。
三年前の夏、新聞のチラシを見
て一週間の水泳講習を申込んだの
がきっかけとなつた。
水泳といふは私の小学校には市
内唯一のプールがあり練習の機会
に恵まれたので、水泳については
子供の頃から若干の自信があつた。
現役時代は殆ど泳ぐことはなかつ
たが、防大プールで実施された特
通の水泳大会で25米の背泳ぎに出場
し、途中鼻に水を吸ひ込むアクシ
デントに遭ひ、も早や放棄せんと
思ひし何とぞ頑張つたら一位で
あつたのが唯一の実績である。
そんなこともあり、YMCAの
講習には気楽に出掛けた。自己評
価の申告は一応謙虚に中級とした。
問題の同期生は中年の婦人四人と
小生。教師は妙齢の美人。何のこ
縁か、この六人による水着姿の面
映ひ出合いが今更撤退も出来ず、
好つかないが今更撤退も出来ず、
久々の学生体験である。
最初は水の中で鼻から一気に息
を吐き、次いで水から顔を上げて
口から十分に空気を吸ひ込む練習。
プーバー、プーバー、館内にこだ
まする先生の黄色い掛声に合わせ
て、顔を上げたり、出した。間
違って息の仕方を逆にするればえ
らいことになる。昔とたきね柄も
全く色褪せ、中級の誇りも今や雲
散霧消、ばた足、ビート板をつけ
ての手掻き練習等々、毎日一時間、
自衛隊に劣らぬすぐれた段階的、
効果的指導法で美人先生にしかか
れる。
中年のおばさん二人は遂にダウ
ン欠席、教育の密度はその分だけ
濃くなる。たか25米位のクロール
ルと思ひ、本人の知らぬ間に
肺の能力老化し、息切れしてま
ならず、一週間の講習修了日漸く
泳ぎきりて目度く修了する。
それから四日目、夏も冬も、雨
の日も風の日も日曜、休日欠か
さずの精勤、基本のプーバーもそ
れなりに習熟し、四・五百米は連
続泳げるようになった。一時間泳

いでもジョギングのように苦しく
はなく、温水プールは恰も温泉の
ように心地よい。この同好の士
はカラフルな老若男女。素晴らしい
プロポーションにまみれば、今
少し遅く生まれればの思いなしと
せず。毎日二千米を淡淡と泳ぐミ
イラみはない七十七歳の先輩、スマ
イルではないがやみくもに五百米
を泳ぎ通す大正生まれ、肥満きみ
のお姉さん、遅くともんば返りタ
ーンする怖るべき中年ウーマン、
しんやかにそこはかないお色気
をただよわせて泳ぐ白鳥のような
女、正に多士済々。
かくて一週間のストレスを癒し、
老化を急ぐ体にも多少なりと活力を
蘇らさんと願う私の日曜日は終る。

五十代のトライ

佐藤 恒

まだまだ先の事だと、ひと事の
ようにしか感じていなかった第二
の人生は、近づいて見ると、アッ
という間にその渦中に入つてしま
つたというが、近頃の実感です。
六十一の四月から、昨野先輩の
後任として「松下電器産業」に勤め
ております。入社して半年を過ぎ
ましたが、商人には仲々なまりき
らず、未だにもたもたしてござい
ます。人生の一区切をつける意味で、
五十歳の代の体力のある時に、色々
とトライしようと思ひ、四つの事
を開始しました。
第一のトライは、退職前にや
時間の余裕がありましたので、思
ひきつて自動車の免許を取らうと
思ひ、お願いして練馬の自動車教
習所で訓練を受け、六十年十一月
に免許を取得しました。若い頃久
里浜で大型免許を取りましたが、そ
れ以後は全然ハンドルに触れる事
もなく、運転歴は全く零でしたが、
再度挑戦して見ると、だんだんと
若い頃体でおぼえた事が思い出さ
れ、五十歳の手習いにしてはスミ
ズに進み、自分でも驚いた次第
です。
この免許を有効に使おうと、国
内旅行をやりたいと思つており、
手はじめに関東への周辺から始め
て、九州、北海道へも挑戦しよう
と計画しております。
第二のトライは、若い頃から始
めた事です。謡曲をやつておりま
す。最近では焚能等若い人にも人

は新潟のスキー場へ通う事が多く、
今は普通のゲレンデでは転ぶ事も
なく滑れるようになりました。六
十歳代までなんとかやりたいと思
つており、今年も会社の若い連中
と滑りたいと思つております。
第四のトライはゴルフです。ゴ
ルフは私の最も好きなスポーツで
す。最近ではゴルフ人口が非常に増
え頼もしい限りです。私のゴルフ
歴は二十年以上になりましたが、そ
の割にはハンデが上がりません。
最近ではクラブ、ボール共に技術革
新により飛距離が伸び、スコアを
まとめるのに非常に有利になりま
した。若い頃プレーしたコースに
久しぶりに行つて見ると、ボール
の飛び具合はたしかに延びている
事がはつきりしますが、道具が良
くなった事と技術が向上した事と
両方相まってだろうと、自画自賛
しております。技術面の進歩は仲
々難かしく、私の球すじはスライ
ド系ですが、なんとカドローボー
ルを打ちたくて、色々とかドロー
ルを打たなくてはならぬと研究中
ですが今だに打てずに悩んでおり
ますが、今度はお教へくださいます
か。シグナルまでとはとても無理ですが
一つでもハンデをへらすよう努
力中です。これも体力との勝負で
すが、健康の維持と練習をかかさ
ずに続けて、七十歳代までプレー
が出来るように頑張りたくと念じ
ております。
以上五十歳のトライとして、
四つの事を続けておりますが、色
々の場所でご一緒出来る事を大い
に楽しみにしておりますので、そ
の節はよろしく願ひ致します。

キャッシュレス社会

安住 高義

銀行を動員して普及に努めた結果、
カード業界全体として最近の四年
間で二倍の伸びを示し、昭和六十
一年三月末時点では、二千五百種
約九千万枚、成人一人当たり約三枚
という数にまで増えた。しかし中
には銀行への義理立てからカード
を持つ人も少なくないらしい。
「テレビが普及して一億衆愚化
が叫ばれ、マイカー通が増え、ひ
とたび出来てしまったものは、出
来ない昔にはもどれない」といつ
た主旨の事を山本夏彦氏が週刊誌
のコラムで書いていたが、クレジ
ットカードも似たようなもので、
拒否反応も根強いが時代の流れに
て否応なくカード社会に直面し
なければならぬ事も又否定出来
ない。
一説によれば、アメリカよりわ
が国の方がカード化に適する要素
が多いともいわれる。「キャッシ
ュレス社会」という言葉がマスコ
ミに登場して日も浅いが、一体こ
れからどう進展して行くのか。十
年先を行くアメリカの現状が一番

わが国のクレジットカードは、
アメリカから十年遅れて昭和三十
五年、アメリカに本社を置く「日
本ダイナースクラブ」ができたの
が発端で、翌年には純国産のカー
ドが創業され、じ来四半世紀
が経過したことになる。
私が第二の人生の就職先として
この業界に入ってから早や三年が
過ぎたが、最近のカード業界は変
化が激しく、素人の私には、なか
なかそのノウハウは掴み切れない
しかし一般人よりは多少聞きか
じった事も多いのでは、と思ひ筆
をとることとした。
クレジットカードは大別すると
銀行系、信販系、流通系に分類さ
れるが、監督官庁は銀行系が大蔵
省の通産という事になっている。
ところが最近、お役人の縄張り
を越えて相互の提携が進展し、業
界の方が一歩先を行つてゐる感
がある。
銀行系カードは、従来エリート
を主対象として来たが、ここ数年
来大衆化が図られ、一般社会、特
に中小企業等に強大な圧力を持つ

手取り早い参考書と言えよう。
アメリカのサラリーマンは一人
平均六・七枚のクレジットカード
を持ち、日常生活にはすべてカー
ドを使い、「現金はチップを払う
ためのみある」と極端な事を言
う人もいるが、それ程カードが日
常生活に溶け込んでゐるらしい。
又、カードは単に物を買つたり、
サービスを受けるだけでなく、一
種の身分証明書の役割をもつて
しまつたらしい。即ち、クレジ
ットカードを持つためには入会審
査があつて、定職・定収入の無い
人、金融事故の経歴を持つ人等は
入会を拒否される。従つてカード
化が進んだ社会では、カードを持
てない人は「社会的信用のない要
注意人物」と見られてしまうので
ある。海外旅行先で、現金払いで
ホテルに泊らうとしたら、とにかく
クレジットカードを見せなければ
としく責められた、と言ふのも
満更無用ではないらしい。
又、カードを利用する人は価格
や情報の面でメリットを享受出来
るが、そのコストが現金払いの人
に転嫁される傾向があるとも言ふ。
以前、秋葉原の電気街で店頭
に「カードでのお買上げは価格を3
%増しにさせていただきます」と書い
てあるのを見た事がある。この3
%と言ふのは、店がカード売上げ
の価格からカード会社に支払うマ
ージンなのである。カードでも現
金でも全く差別してはならないの
が加盟店の原則であり、このよう
な店は加盟取消となる。
しかしカードを使うお客が多く
なると、このマージンがすべてに
上乗せされ、現金払いの人が一番
バカを見るような事にならないで
ろうか。カードを持つていても長
年の習慣でつい現金払いをする私
としては、誠に気になる点である。
業界の統計では、現在四十歳以
上の人、特に昭和ヒトケタ以前の
人はカード人口に比べて少ない。
今、この年代でカードを上手に使
いこなしている人は、社会的適応
力の高い、頭の柔軟な人と言え
るのではないだろうか。

陸上通信 トピックス

陸幕通信電子課
総括班長
山田 修

一、IDDN事業に着手

既に新聞報道等で御承知の方も多いかと思いますが、防衛統合デジタル通信網の建設が三幕協同事業として正式に発足致しました。本事業は昭和六十二年秋から向こう十年間で、寒日本にデジタル方式の地上マイクロ回線を建設するとともに、現在の防衛マイクロ回線をデジタル方式に換装し、更に衛星通信回線をもつてこの地上マイクロ回線を補完しようとするもので、事業経費は約八百億円と見積られております。本事業実施のために、陸幕通信電子課の中にIDDN計画室が本年五月から設立され、陸海空から選抜された要員二十三名が川崎一陸佐のもとで意欲的に業務にとり組んでおります。

二、陸上自衛隊Cの研究たけなわ

近年、陸上自衛隊のCの遅れが指摘されていましたが、昨年八月から陸幕防衛部研究課において研究が開始されました。本年二月からは研究課の中にC総合計画室が設置され、今後の陸上自衛隊におけるCの態勢はいかにあるべきかを各学校の協力を得ながら、専門的に研究しております。現時点では、陸上自衛隊C整備構想が、おむね確立され、六十二年度からはこれの事業化に移行してゆく予定であります。Cと云つても漠然としていますが、ここでは陸上自衛隊の各級司令部における指揮幕僚活動を迅速かつ効率的に実施するためのシステム及び指揮所システムと考えていただければ良いと思っております。IDDNとCシステムが完成した暁には、陸上自衛隊の通信も本格的なコンピュータネットワークの時代に突入するのは間違いないところであります。

三、通信保全隊の編成

昭和六十一年度末に通信団の通信監査隊が発展的に改編されて約百名の通信保全隊に改編されます。陸幕改編に伴い通信保全隊の機能が極めて縮小され苦慮しておりますが、関係者の御尽力により本改編が可能になったことは喜ばしいことであります。時あたかも、防衛通信における秘匿が脚光をあびて来た今日、通信保全隊編成の意義は極めて大きいものと考えております。

四、構内電子交換装置の導入

従来のクロスバース式自動交換機の老朽化に伴う換装で、今後のIDDNとの接続を考慮し、デジタル交換装置時分電子交換機(電式)の導入を始めました。その第一段として、本年四月から富士駐屯地において運用を開始しております。今後逐次、全国の駐屯地に導入される予定になっております。

事務局だより

信友会員名簿の更新

従来、会員名簿は概ね三年ごと更新発行されてきており、その間の新規加入や訂正は機関紙「信友」でお知らせしております。この名簿は、担当幹事(下川)の努力により非常に正確性が高く、掌握率はほぼ一〇〇%であります。今回新しい名簿を作成して配布いたしますが、経費の関係上、前回同様有料とせざるを得ませんので宜しく御協力の程をお願いします。

会費の改正

御承知のとおり会の運営は、入会時の終身会費(五、〇〇〇円)のみで実施されてきておりますが、通信費・信友発行費・慶弔費等が予想以上にかかり、会の運営に支障をきたしつつあります。そのため心苦しく思いますが、やむなく終身会費を一万円に値上

げたいたしたく、今回の総会に会則の改訂として提案させていただきますので宜しくお願いいたします。

永野議員後援

御承知のように、永野茂門氏は昨年七月の選挙で見事参議院議員に当選されました。その際に御承知のとおり、永野議員の御後援活動に御協力をお願いいたします。

「通信電子」に信友会のページ

久里浜修観会発行の機関紙「通信電子」は、職種の機関紙で月刊を続けています。唯一のもので、発行以来約三十年になります。通信学校では本誌の誌面刷新を検討中ですが、その一つとして信友会のページを設けてきております。現在調整中ですが、OBからの一言、OBの動静などを寄稿して、通信

の発展、又は現役とOBの絆を深めるための一助になればと考えております。

現在の役員

(昭和62年2月1日現在)

会長 大河原三平(第六代)
副会長 田中 邦明
幹事 嶋崎五月次(新任)
倉本 裕孝
下川 重夫
杉浦 裕孝
林 輝雄
森 弘幸
矢口 文彌
依田 明
野村 操
安崎 義雄
櫻 雄
山本 筑郎

編集後記

今回は新名簿を発行しましたので「信友」のページに余裕がで、それだけ多くの会員の御寄稿をのせることができました。健康と趣味の記事が大半ですが、第二の人生を楽しく健全に過ごすには欠かせないものです。この一年は、非常に多くの会員の方が亡くなりました。存じよりの人はばかりです。非痛な感じがいたします。

円高、超低金利、年金抑制等、この面からもOB生活者にとっては大変ですが、気持ちだけは豊かに持って、有意義に毎日を過ごしたいものです。会員の皆様の一層の御健勝を祈ります。(依田・杉浦)

叙 勲

心よりお慶び申し上げます

春の生存者叙勲 (61.4.29)

勲 四等瑞宝章 中根 平次 (元秋田地方連絡部長・1佐)
勲 七等瑞宝章 清原 直人 (元第103通信運用大隊・3尉)
" " 高橋 三郎 (元第12通信大隊・3尉)
" " 中野 四郎 (元第101基地通信大隊・3尉)
" " 篠崎 武 (元中央野外通信群・技官)
" " 峯岸 巖 (元通信補給処・技官)
銀 杯 一 号 山本 筑郎 (元通信団長・陸将補)

秋の生存者叙勲 (61.11.3)

勲三等旭日中綬章 高杉 恭自 (元東北方面總監・陸将)
勲 四等瑞宝章 川嶋 全 (元通信団副団長・陸将補)
勲七等青色桐葉章 伊藤 秀夫 (元101基地通信大隊・3尉)
" " 宮原 照弘 (元通信補給処・3尉)
勲 七等瑞宝章 鶴川 一夫 (元第12通信大隊・3尉)
" " 富田 恭男 (元通信監査隊・3尉)

訃 報

謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

(氏 名)	(御逝去年月日)	(御遺族住所)
足立 武	60.6.4 千002	札幌市北区7条3丁目3-7
加藤 昇	61.5.24 347	加須市馬内1024
北村 忠行	61.10.17 243-04	海老名市さつき町1-9-102
小森 淳四	61.6.12 245	横浜市泉区和泉町3775-5
嶋山 一郎	61.1.7 747	防府市松崎町9-20
田口 正男	61.1.6 285	佐倉市江原台2-29-10
田村 鮮司	61.6.9 320	宇都宮市東町152-12
野口 昭	60.2.11 071-13	旭川市末広3条7丁目
野口 裕	61.2.15 191	日野市多摩平6-33公住212-1
古川 良一	61.4.18 222	横浜市港北区太尾町68
福永 哲郎	61.8.30 228	相模原市御園1-18-20
増子 友康	61.8.2 359	所沢市上新井853-12
山田 博次	61.7.9 187	小平市花小金井5-487-23
吉田 善一	59.11.25 294-02	館山市布良1302-1



信友会東北地区懇親会 (61.3.2)